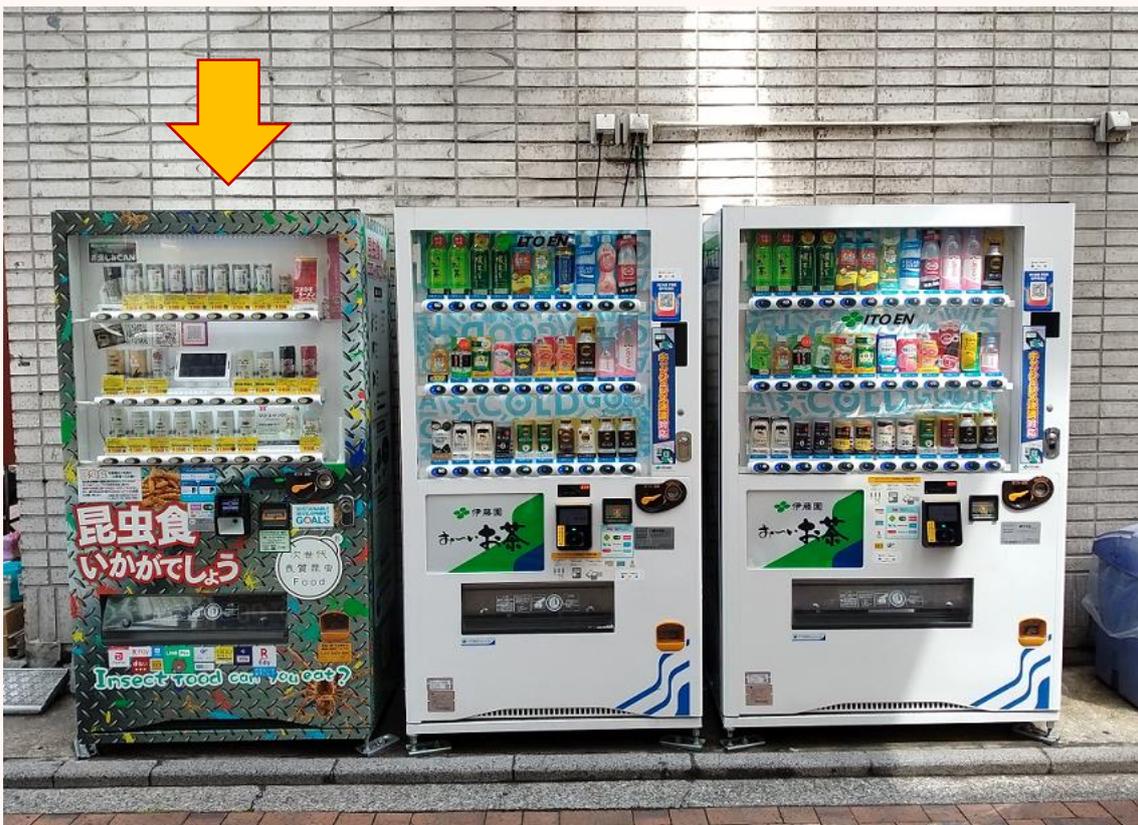


## 地球にやさしい食べ物

日本では、どこにでも自動販売機があります。多くの自動販売機では、水やお茶、コーヒーなどの飲み物を売っています。そのほかに、パン、お菓子、インスタント食品、傘、アクセサリなど、色々なものを売る自動販売機があります。

では、この自動販売機は、何を売っているのでしょうか。



よく見ると？



そうです。虫です。食べるための虫、つまり、食用昆虫を売っています。



人間の体はタンパク質でできているので、人間は食べ物からタンパク質をとらなければなりません。タンパク質は動物の肉や卵、魚、乳製品などや、大豆製品などに含まれています。

現在、世界の人口は増えつづけています。このまま人口が増えると、肉が足りなくなり、動物性タンパク質が十分にとれなくなります。そこで、タンパク質を取るための食べ物として、昆虫が注目されています。昆虫には、タンパク質のほかに、ビタミンやミネラルなど、色々な栄養が含まれています。昆虫と牛を比べると、昆虫のほうが少ないえさで育てることができます。牛はえさを食べるときに、ゲップをします。ゲップとは胃の中の空気を吐き出すことです。そのゲップの中にメタンガスが含まれています。メタンガスは地球温暖化の原因になります。それに対して、昆虫はメタンガスを吐き出しません。昆虫食は、栄養、お金、環境にとってもいいと言えます。

世界では、アジア、アフリカ、南米などの地域で、昆虫が食べられてきました。日本では、海に面していないところ、長野県、岐阜県、群馬県などで、地方の食文化として昆虫食が残っています。

では、実際にどんな味がするのか、虫の赤ちゃんである幼虫がミックスされたものを食べてみたいと思います。その味は…？



勇気が出なくて買えませんでした。昆虫の味を知りたい人は、自分で買って、自分で食べてみてください。

※昆虫は、エビやカニと同じ種類の動物です。アレルギーがある人は気をつけてください。

(788 字)

(2022.4 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

#### <参考資料>

- ・「朝日新聞 Edu A」ウェブサイト「昆虫食に関心高まる 環境問題解決の糸口にも？ 専門家『多様性、子どもに伝えて』」

<https://www.asahi.com/edua/article/14421975>

(2022.5.24 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.